

2026年8月6日
南海電気鉄道株式会社
Pininfarina S.p.A.

**なにわ筋線開業へ向けて次期空港特急の導入を決定
イタリアのピニンファリーナ社とともに、南海の新たなフラッグシップを創造**



南海電気鉄道株式会社（社長：梶谷 知志、以下「南海電鉄」）では、なにわ筋線に乗り入れる次期空港特急の導入を決定しました。

大阪・難波と関西国際空港を結ぶ空港特急ラピートは、「空港アクセスを担う南海」をイメージするシンボルとして1994年9月4日に運行を開始し、延べ約7,600万人のお客さまにご利用いただけてきました（2026年6月末現在）。南海電鉄では、30年以上にわたってラピートが築いてきた価値と精神を未来へ継承するとともに、なにわ筋線開業を契機とした新しい時代のNANKAIグループのフラッグシップとなることを目指して開発に取り組めます。

その実現に向けて、車両デザインのパートナーとしてイタリアのピニンファリーナ社と共創します。

同社は1930年の創業以来、96年にわたり、フェラーリ、マセラティ、ロールス・ロイス、ホンダをはじめとする世界的ブランドを手掛け、時代を超えて愛される数々の名作を生み出してきました。

南海電鉄は、その本質を形にする力と、時代を超えて愛される価値を創造する姿勢に共感し、単なるデザイン会社としてではなく、ラピートが築いてきた価値を未来へ継承し、新しい時代を象徴する存在を共に創り上げるパートナーとして同社を選定しました。ピニンファリーナ社が日本の鉄道車両デザインを手掛けるのは今回が初めてで、卓越したイタリアンデザインの象徴として世界的に認知されているピニンファリーナ社のエンブレムを車両に掲出する予定です。

両社がそれぞれ培ってきた歴史、理念、デザイン文化を結集し、あわせて200年を超える伝統を融合することで、ラピートの価値を未来へ継承し、新しい時代を象徴するフラッグシップの創造に挑戦します。

車両デザインやコンセプト等の詳細は、順次お知らせします。

■コメント

○南海電鉄 社長 梶谷 知志

関西と世界を結ぶ玄関口にふさわしい、新たな空港特急を創り上げたい。その想いのもと、私たちは次世代の空港アクセスサービスの実現に挑戦します。

1994年の関西国際空港開港以来、多くのお客さまにご利用いただいていた空港特急「ラピート」。その価値と精神を受け継ぎながら、次期空港特急においても、時代を超えて愛され、日本を代表する鉄道車両となることを目指します。その実現に向けて、96年にわたり世界中で愛されるデザインを創出してきたピニンファリーナ社と協業します。時代を超えて愛される価値を創造したいという両社の想いを融合し、関西の玄関口にふさわしく、世界に通用する魅力を備えた新しい時代の空港特急を開発してまいります。



○Paolo Dellachà, Chief Executive Officer, Pininfarina

(ピニンファリーナ社 CEO パオロ・デラッチャ)

We are proud to partner with Nankai Electric Railway on a project that marks a significant milestone for Pininfarina: the first train we have ever designed for Japan, a nation with which we have shared a deep and enduring connection for many years. This collaboration allows us to bring to a new market the expertise we have developed over decades in railway design, from the pioneering ETR 500 high-speed train in Italy to projects across Europe, including the Eurostar e320 connecting London to Paris. We believe that great transportation design should seamlessly combine beauty, innovation, comfort and efficiency, and we are excited to help shape a new travel experience that reflects both the ambitions of Nankai Electric Railway and the distinctive design heritage of Pininfarina. We are also proud that the new train will carry the Pininfarina badge, expressing the authenticity of our contribution and our commitment to this landmark project.

(日本語訳)

当社にとって大きな節目となる本プロジェクトで、南海電鉄と協業できることを大変誇りに思います。本プロジェクトは、初めて日本向けにデザインする鉄道車両となります。長年にわたり日本との深い絆を育んできた当社にとって、今回の協業は、イタリアの先駆的な高速鉄道『ETR500』やロンドンとパリを結ぶ『Eurostar e320』をはじめ、欧州各地のプロジェクトを通じて数十年にわたり培ってきた鉄道デザインの知見を、日本という新たな市場で発揮する貴重な機会です。優れた交通デザインとは、美しさ、革新性、快適性、そして効率性をシームレスに融合させるものであると考えています。南海電鉄の目指す姿と、ピニンファリーナならではのデザインの伝統を体現した、新たな旅の体験を形づくる一助となることを楽しみにしています。また、この節目となるプロジェクトに対する当社の本格的な参画と強い決意を示すピニンファリーナのエンブレムが車両に掲出されることを誇りに思います。



■ピニンファリーナ社 概要

イタリアンデザインを象徴する世界的な存在であるピニンファリーナは、「エレガンス」「純粋性」「革新性」を中核価値とし、時代を超えて愛される美を創造する独自の力で知られています。1930年に創業し、国際的なデザイングループとして、自動車デザインの最高峰を体現するとともに、インダストリアルデザイン、エクスペリエンスデザイン、建築、船舶デザイン、さらには自動車分野を超えたモビリティデザインにおいても確固たる地位を築いています。グループ全体で約500名の従業員を擁し、イタリア、ドイツ、中国、米国に拠点を展開しています。また、1986年より株式上場企業として活動しています。96年にわたり、フェラーリ、マセラティ、ロールス・ロイス、ホンダをはじめとする名だたる自動車メーカー向けに1,450車種以上のデザインを手掛けてきました。さらに、イスタンブール空港 航空管制塔など、750件を超えるプロダクトデザインおよび建築プロジェクトを実現しており、過去10年間だけでも90を超える国際的なデザイン賞を受賞しています。

※公式サイト:www.pininfarina.com



Pininfarina Sergio concept car on Ferrari mechanics
(フェラーリをベースとしたコンセプトカー
「Pininfarina Sergio」)



ATC Tower Istanbul Airport designed by Pininfarina
(イスタンブール空港 航空管制塔)



(参考)

■空港特急「ラピート」概要

関西国際空港の開港に合わせて、1994年9月4日に運行を開始しました。車両デザインは、プロダクトデザイナー・建築家の故・若林広幸氏によるもので、「アクセスロビー」「レトロフューチャー」「ダンディ&エレガンス」をコンセプトに誕生し、1995年には鉄道友の会による「ブルーリボン賞」を受賞。「ラピート」の愛称は、一般公募で寄せられた約3万通の応募の中から選ばれ、ドイツ語で「速い」を意味します。関西国際空港へのアクセスを担うとともに、南海電鉄を代表する特急車両として、延べ約7,600万人のお客さまにご利用いただけてきました(2026年6月末現在)。



空港特急「ラピート」

以 上